

しかし、近年この遊歩道では、表流水等により立山スギ等の根が洗掘されている箇所が多く見られることや、観光客が歩道の水たまりを避けて通ることから歩道が横に広がりつつあります。このため、立山町にある官行造林地内で実施した保育間伐材を有効利用してチップの敷設等の整備を行うこととしたものです。

九月十五日から十六日にかけては、フォレストサポーターズ、立山地区国有林野保護管理協議会と協働で、官行造林地内のスギ間伐跡地において、玉切りした間伐材を林道まで運び出し、チップパーシユレッダーでチップを製作しました。当署職員は、二日で延べ三十五名、ボランティアは延べ三十二名参加していただいたことにより、土のう袋九百袋分のチップを製作することができました。

十七日は、当署職員十名、保護管理協議会二十二名、森林療法を楽しむ会などのボランティア八名の総勢四十名が参加して、前日までに製作したチップ



チップ撒き作業
(美女平風致探勝林内遊歩道)

プを撒く作業を行いました。チップ撒き箇所までは高低差四十以上のアップダウンがあり、四十名が横並びとなって手渡しで土のう袋を移動させました。九百袋の土のう袋を二回に分けて手渡しで運ぶ必要があり、千八百回の手渡しを行ってやっと運ぶことができました。

参加者は皆バテバテながらも、遊歩道内の根が被るようチップを撒き、今年度はほぼ完成することができました。今後は、二年間かけて残り一八〇分のチップ撒きを行っていく予定です。

地元の小学生が「檜皮」

～職人の技に見入る～
について学習

「南木曽支署」十月六日、南木曽小学校三年生の児童三十五名が南木曽支署を訪れ、森林教室を実施しました。



採取した檜皮を見学する児童

この森林教室は、南木曽小学校三年生の総合的な学習テーマが「木」についてであることから、南木曽町から実際に伝統文化財の建物の屋根に利用されている檜皮の採取を見てもらったかどうかと考え、丁度、「檜皮の森」へ檜皮採取に入る社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会（以下社寺技術保存会）とも連携し対応することとしました。

当日は、台風十八号接近による悪天候のため、「檜皮の森」での見学を中止し、南木曽支署において、「森へいこう」のDVDを鑑賞した後、社寺技術保存会の原皮師が檜皮採取で使用する道具の説明、檜皮の歴史などの講義と檜皮の採取で使うぶり縄を使った木登りの実演や檜皮を採る作業を見学し、児童らはぶり縄を使って木に登る原皮師を見て「すごい」と職人芸に見入ったり、「皮を剥いだ後のヒノキは枯れたりはいらないですか」、「採取するとき、どれくらいの高さまで登ることが出来ますか」等多くの質問が出されていました。

その後、小学校へ移動して校庭内にある木曾五木をさがすゲームを行い、森林教室を終了しました。

南木曽支署として「檜皮の森」をはじめとした「木の文化を支える森づくり」と森林環境教育を融合した取組を推進することにしており、今後もこういった取組について、協定相手方とも連携しながら進めていくこととしています。



ぶり縄を使用している木登りの実演

「木づかい」で温暖化防止を！

「木の日」の要請活動

「名古屋事務所」木づかい推進月間中の十月七日に、岐阜県木材利用推進協議会（後藤直剛会長）と名古屋事務所が連携し「公共施設への地域材の利用促進」と「木づかい運動の推進」等に関する要望活動を行いました。



古田岐阜県知事への要望活動の様子

岐阜県知事をはじめ、ぎふ清流国体推進局や各部署局長等、議会・教育委員会、県警本部に対し、「木材の利用推進に関する要望書」を手渡し、公共施設・学校等の木造化・内装の木質化、土木工事等における間伐材の利用、地域材を利用した木造住宅の建築促進、木質バイオマスエネルギー利用の推進及び「地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策」への理解と支援をお願いしました。

シリーズ 現場最前線

何でも話し合い安全と

効率の良い職場作り

中信森林管理署 大町班

中信森林管理署大町班の作業場所は、長野県北西部の北安曇郡、大町市に所在する国有林、官行造林地で、森林事務所は鹿島、松川、白馬、小谷の管内約五〇、七〇〇haで作業を行っています。

班員は、基幹作業職員一名、臨時作業員一名の二名体制とごく小規模であります。作業種は春から秋にかけての除伐、保育間伐、つる切、冬期の看板作りなど多様な仕事に従事しています。

現場作業に当たっては、管轄森林事務所が多いことから、班と森林官が連絡を緊密に取り合うことで、現地にあった安全対策、季節等に応じた衛生対策や通勤

時間が長いため車両運転時の危険箇所を全員で確認等の安全対策を共有することとしています。具体的には、「何でも話し合える関係の構築」、「さらに良い方法で作業が行えないかという探求心」を意識したミーティング、安全懇談会を行っています。



歩道整備の作業状況

また、安全懇談会については、月初めに一度、各森林事務所、各治山事業所と班で集まって行い、その場でヒヤリハット事例等による危険予知及び安全確保を徹底して行うことで、危険の芽を少しでも摘み取ることを意識して行っています。

今後とも少人数班ではありますが、森林の健全な育成を図るため、何でも話し合いより良い職場作りに努めていきます。

人のうごき

林野庁人事（抄）

九月一日付

- ▽林野庁国有林野部業務課国有林野総合利用推進室長（中部森林管理局計画部計画課長） 角 秀敏
- ▽中部森林管理局計画部計画課長（近畿中国森林管理局森林整備部治山課長） 川浪亜紀子

- ▽林野庁出向（関東森林管理局出向）総務部総務課付（林野庁森林整備部計画課併任） 川本 芳光
- （中部森林管理局計画部計画課経営計画第三係長）

中部森林管理局人事

九月一日付

- ▽計画部計画課経営計画第三係長（飛騨署業務第一課技術専門官） 反中 孝一
- ▽東北森林管理局出向（総務部職員厚生課付）（中信署治山課治山第三係長） 本田 敬子

林野庁人事（抄）

九月三十日付

- ▽退職（中部森林管理局飛騨森林管理署長） 渡辺 衛市

中部森林管理局人事

九月三十日付

- ▽退職（飛騨署業務第一課付） 遠山 恵一
- ▽退職（岐阜署業務第一課管理係）

林野庁人事（抄）

十月一日付

- ▽中部森林管理局飛騨森林管理署長（林野庁森林整備部計画課課長補佐（山村振興指導）） 原 修
- ▽林野庁森林整備部整備課路網整備専門官（中部森林管理局総務部専門官（契約適正化）企画調整室併任） 池本 育利

- ▽中部森林管理局総務部専門官（契約適正化）企画調整室併任（中部森林管理局計画部企画官（自然再生担当）計画部指導普及課併任） 小久保 優

中部森林管理局人事

十月一日付

- ▽飛騨森林管理署付（局総務部付（名古屋事務所）） 野々川吉弘
- ▽森林整備部治山課審査係長（局森林整備部治山課調査係長） 村田 則幸
- ▽森林整備部治山課調査係長（木曾署治山課治山第一係長） 大久保秀一
- ▽木曾森林管理署治山課治山第一係長（木曾署治山課治山第二係長） 小嶋 友和

- ▽木曾森林管理署治山課治山第二係長（局森林整備部治山課企画係主幹（治山担当愛知森林管理事務所）） 萩原 伸也

- ▽飛騨森林管理署業務第一課森林ふれあい係長（飛騨署業務第一課付） 大西 沙織

平成二十一年度 「森林の絵画コンクール」開催



「名古屋事務所」 平成二十一年度「森林の絵画コンクール」は、平成二十二年にCOP10愛知県名古屋市内開催を盛り上げる「COP10パートナーシップ事業」の位置づけを新たに加え、中部森林管理局名古屋事務所、中日新聞社、中部日本治山治水連盟主催、べんてる株式会社協賛、生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会の連携協力により開催しました。

このコンクールは、木材の供給はもとより、きれいな水や空気の源として、さらに国土や生活環境の保全、安らぎの場の提供など私たち人間はもとより生物に様々な恩恵を与えてくれる森林の大切さを、次代を担う子供達に、絵画を通じてもっと知っていただき、より身近なものとしていただきたいとの思いで、平成九年度から取り組んでいるもので、今年で十二回目となります。

今回は「あなたがイメージする美しい森林」や「こんな森林があつたらいいな、生物多様性の保全などこんな森林をつくってみたいな」という夢のあるテーマで作品の募集を行いました。

作品の応募状況は、昨年に比べ二百点余を超える五百六十七点の応募作品があり、北海道から九州まで全国から寄せら

れました。審査は九月二十五日名古屋事務所において、幼児、小学生低学年、小学生高学年、中学生の四部門、それぞれ五点の入賞作品を決定しました。

入賞作品の表彰式は、生物多様性の保全に関わりの深い「環境省稲永ビクターセンター」(名古屋港区野跡)で十月十日に開催し、竹林名古屋事務所長が、「どの作品も、力作揃いで、審査は大変難航いたしました。また、作品には、森林に対する想いが鮮明に描かれており、森林や環境への関心の高さを感じ、その反響の大きさに国民の森林を預かる者として、改めて責任の重さを感じております。また、中部森林管理局では、国有林をフィールドとした森林環境教育に積極的に取り組んでいますのでご活用いただければと思います。」と挨拶を述べました。引き続き、竹林所長から中部森林管理局局長賞(金賞)及び名古屋事務所長賞(佳作)、中日新聞古田社会事業部次長から中日新聞社賞(銀賞)及び中部日本治山治水連盟賞(銅賞)が入賞者に渡されました。

表彰式典終了後、受賞者は家族と共に展示作品を見ながら、受賞の喜びに浸り楽しそうに会話していました。

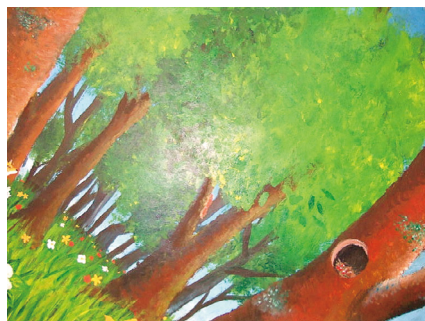
この「稲永ビクターセンター」での作品展示は、十月十二日までですが、第二回目的作品展示を「瀬戸自然休養林内の森林交流館」において、十月二十七日～十一月二十三日まで予定しています。



小学生低学年の部 金賞
「森の仲間達」
青山 直樹さん



小学生高学年の部 金賞
「キツツキの森」
平松 大輔さん



中学生の部 金賞
「緑豊かな森」
小森 大空さん



幼児の部 金賞
「大きな木」
堀之内 斗和さん



表彰式風景

行事・会議等の予定

◎ 治山現地検討会

11月5～6日 東濃署管内

◎ 名古屋シティフォレスト事業

11月5日 愛知所管内

11月18日 愛知所管内

◎ 造林現地検討会

11月9～10日 中信署管内

◎ 保護林モニタリング現地検討会

11月10～12日 中信・木曽署管内他

◎ 署長等会議

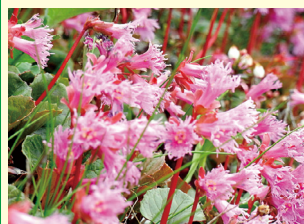
11月12～13日 中部森林管理局

伊奈川溪谷



「南木曽支署」木曽川の支流「伊奈川」は、中央アルプスの檜尾岳（標高二、七二八メートル）と三沢岳（標高二、八四六メートル）とに挟まれた伊奈川国有林の幾重もの沢に端を発し木曽川に注いでいます。一帯は「伊奈川溪谷」と呼ばれ、源流は中央アルプス木曽駒ヶ岳森林生態系保護地や中央アルプス県立自然公園に指定され、空木岳（標高二、八六四メートル）、南駒ヶ岳（二、八四一メートル）などの名峰を目指す登山者をはじめ、清流を楽しむトレッキング等多くの人々が訪れています。

中央アルプスの登山口は伊那谷側のロープウェイからがメインルートとなりますが、伊奈川溪谷から空木岳等を目指すルートも根強い人気を有しています。このルートは関西電力の発電用ダム「伊奈川ダム」の上流にある駐車場から伊奈川に沿って走っている林道を進み、人工林と天然林の織りなす景観を楽



コイワカガミ



イワウメ

◆アクセス
○公共交通機関を利用した場合
JR 中央西線須原駅または大桑駅下車

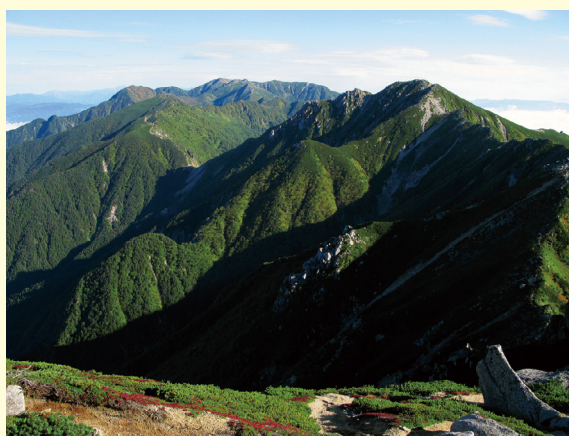
しみながら登山道を登り、やがてダケカンバやナナカマド、シラベといった亜高山帯の樹林を抜けて空木岳と東川岳の鞍部に到着となります。ここには、平安時代末期、木曾に縁のある「木曾義仲」が伊那攻めの時にこの鞍部を登り越えたという古事が残っており、「木曾殿越」（標高二、五〇五メートル）という名前がついています。また、近くには「義仲の力水」という水場もあり、その名水は登山者の気力・体力の回復にも一役買っています。

日本百名山で最後に登る方が多い空木岳から南へは越百山（二、六二二メートル）、北へは木曽駒ヶ岳への縦走が楽しめ、新緑の季節、あるいは紅葉の季節、雪化粧を纏った季節と四季折々を通じ、美しい風景が見られ、多種多様な高山植物も楽しめます。

是非、「伊奈川溪谷」から中央アルプスに登ってみてはいかがでしょうか。



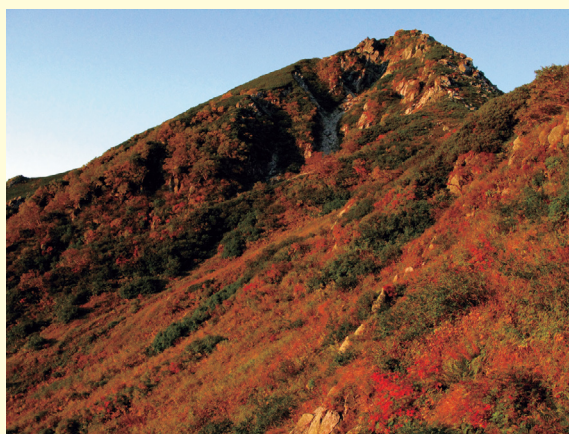
花崗岩石の伊奈川



空木岳と木曾殿越



雪化粧の空木岳



紅葉の南駒ヶ岳

タクシー利用で伊奈川ダム上部駐車場まで約四十五分
駐車場から木曾殿越まで約六時間三十分

○自動車を利用した場合
国道十九号線伊奈川橋信号から伊奈川ダム上部駐車場まで約四十分